

2025 年度 札幌学院大学大学院臨床心理学研究科 一期入学試験

専門科目

問題 1

次の架空事例を読んで以下の問いに解答しなさい。

問 1

【事例】

Aは4歳である。Aの両親は、Aのかんしゃくや暴言への対応に苦慮していた。

例えばAは、普段はやさしい口調で穏やかに話す、手に入れたい物ややり続けたいことがあるときには大声をあげてわめき、Aの両親はどうしたらよいかわからずに最終的にはAが望む通りにさせることを繰り返していた。

また、Aの両親は仕事や家事などで毎日忙しく過ごしているため、Aにテレビやインターネットを見せて過ごさせる時間が長い、それらを見ながらAが「死ぬ」「ふざけんな」などの暴言をはくと、両親はすぐにAに近寄り「それはよくない言葉だよ」と目を見てしっかり伝えるようにしていた。しかしAの暴言は少なくなるどころか日に日に増え、また激しくなっている。

このAの両親がAへのかかわり方を身につけるためにペアレント・プログラム、またはペアレント・トレーニングを受けたとする。ペアレント・プログラム、またはペアレント・トレーニングは、Aの両親がAのどのような行動に対してどのように関わることができるように目指すものであるか、オペラント条件づけの原理に基づき解説しなさい。

問 2

ロジャーズ, C.は1957年に「治療的なパーソナリティ変化の必要十分条件」という論文を発表した。その中で言われた、クライアントの人格が建設的な方向に変化するためには、クライアントとカウンセラーとの間に一定期間存在することが必要だとされた「6つの必要にして十分な条件」を全て記載しなさい。

問 3

DSM-5において診断基準の条件とされている、心的外傷後ストレス障害（PTSD）に見られる4つの症状を全て記載しなさい。

問4

次の文章が正しい場合は○を、誤っている場合は×を記載しなさい。

(1) 精神分析的心理療法において、クライアントの過去の重要な人物との関係が、治療者との関係の中に移されることを逆転移という。

(2) 箱庭療法では、どのようなクライアントの表現も妨げてはならないと考えられる。

(3) 統合失調症の原因の一つとして、セロトニンの放出異常が考えられている。

(4) 加齢にともなう予備能力低下のため、健康障害を起しやすくなった要介護状態の前段階の状態をフレイルという。

(5) 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」に規定されている入院形態のうち、指定医2名以上の一致により自傷他害のおそれがあると判断された場合、本人の同意を必要とせず都道府県知事の権限において入院させることを医療保護入院という。

(6) 知的発達症は、18歳までに生じる知的機能の明らかな制約によってのみ診断されることが重要である。

(7) 「医療法」において、医師または歯科医師が、公衆または特定多数人のため医業または歯科医業を行う場所であって、20人以上の患者を入院させるための施設を病院という。

(8) 安全配慮義務は、「労働契約法」に規定されている。

(9) 少年鑑別所における収容期間は「少年法」で2週間を超えることができないと記載されているが、要件や手続きにより最長で8週間となることがある。

(10) 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」において高齢者虐待とは、身体的虐待、ネグレクト、心理的虐待の3つと規定されている。

問題 2

次の架空事例を読んで、以下の問 1、2 に解答しなさい。

【事例 A】 24 才女性 会社員 親に勧められて、精神科クリニックを受診。

幼少時から学生時代を通して、友達はほとんどおらず、一人行動を好んでいた。大学時代は学生証を紛失することが多く、窓口の職員に顔を覚えられるくらいであった。一方で学業成績は良く、大学卒業後、第一志望の B 社に入社した。半年たっても仕事がなかなか覚えられず、上司の説明が理解できず、ケアレスミスが多かった。同期と比べられることが多かったが自分では新人なので当然だと思っていた。次第に疲労感もとれず、出社しようとする、動けなくなり 7 カ月目に退職した。3 カ月ほど休んだら回復したため、親戚から勧められた現在の会社に入社し、1 年経過したが、再度、疲労がとれず、夜も寝つきが悪くなり、食欲もなくなってきた。上司は簡単な仕事だというのが、マニュアルもなく仕事が複雑なので、覚えにくい上、自分ではうまく仕上げたつもり書類にもかなり細かな直しが入り、そこまで指導されなくてもと思うことが多い。最近では、好きなゲームもする気にならなくなってきた。

主治医から、診断と今後の治療方針(カウンセリングも含めて)の一助とする目的のため、公認心理師に心理検査が依頼された。尚、内科的な精査の結果、特に異常所見はなかった。

問 1

どのような見立てのもとで適切な心理検査のバッテリーを選ぶか、バッテリーを選ぶ理由を説明しなさい。

問 2

問 1 で述べた理由に従って、以下の心理検査の中から、最も適切な心理検査のバッテリーを 4 種類選びなさい。

- ① ADAS-J-cog ② DAP ③ WISC-V ④ M-CHAT ⑤ WAIS-IV
⑥ LSAS-J ⑦ STAI ⑧ SDS ⑨ ASRS-v1.1 ⑩ AQ-J

問3

(1) 認知症のスクリーニング検査について、以下の①から⑤に入る適切な内容を記入しなさい。

検査名	作成者と公表年	カットオフ値
(①)	加藤伸司他 (1991)	非認知症 (②) 点以上
(③)	Folstein et al. (1975)	軽度認知症23点以下
MoCA-J	鈴木宏幸他 (2010)	健常 (④) 点以上
(⑤)	Borson S et al. (2000)	認知症疑い2点以下

(2) 高齢者に神経心理学的検査を実施する上での6つの留意点について述べよ。

問4

次の記述について、適切なものに○、適切でないものに×をつけなさい。

- A. Gray, L. は気質の4次元と性格の3次元からなる特性論を提唱している。
- B. 津守・稲毛の乳幼児精神発達診断法は、直接観察による幼児の精神発達検査である。
- C. WAIS-IVはWechsler, D. による成人用知能検査の改訂版で、言語性検査と動作性検査によって構成されている。
- D. ベンダー・ゲシュタルト・テストとは、図形を用いて記銘力を測定する検査である。
- E. ダークトライアド (dark triad) は古典的な類型論の1つである。
- F. ピッツバーグ睡眠評価票 (PSQI) はWHOが作成した睡眠評価尺度である。
- G. DSM-5によるパーソナリティ障害は次元モデルによって、A群からC群に分けられている。

問5

次の語句を説明しなさい。

(1) 一般知的能力指標 (GAI)

(2) Kernberg, O. F. の人格構造概念による病態水準

問題3

問1

問題文を読んで、Q1からQ4に解答しなさい。

インターネットを利用した認知行動療法(Internet-based Cognitive Behavior Therapy, 以下 ICBTとする)がうつ病に対して効果があるのかを調べるため、うつ病の患者30名を無作為に3条件に、10名ずつ割り当てた。カスタマイズ条件の患者には、構造化面接に基づき、個人に合わせて最適化したICBTを10週間実施した。標準条件の患者には、標準化されたICBTを10週間実施した。統制条件の患者には、1 同じ期間、ICBTおよび他の心理療法の要素を全く含まないパソコンを通じた単なる会話をしてもらった。各条件の改善得点(この値が大きいほどうつ病が改善したことを示す)の平均値は、カスタマイズ条件 16.0、標準条件 10.0、統制条件 3.0となった(*注: 本来なら標準偏差を記すところであるが、出題の都合上省略する)。下記は分散分析を適用した結果の表である。

	平方和	自由度	平均平方	F値
群(条件)間	342.0	2	171.0	57.0
群(条件)内	81.0	27	3.0	
全体	423.0	29		

$2p < .01$

(橋本貴充 2019 第7章 複数の群の平均値差の検定 繁樹算男・山田剛史(編) 公認心理師の基礎と実践 5 心理学統計法 遠見書房, pp. 124-139. から一部変更し問題文および表として引用。)

Q1. この実験で設定される帰無仮説は「『3条件の平均値がすべて等しい』である」と述べた人がいる。この発言は誤っている。正しく修正しなさい。

Q2. 統制条件の患者に何もさせないのでなく、問題文中の下線部1のような活動をさせることの意義を、実験法の観点から述べなさい。

Q3. 「この実験を被験者(参加者)内要因で計画してはどうか」と述べた人がいたとする。この発案に対する建設的な批判を、剰余(攪乱)変数の統制という観点から行ないなさい。

Q4. 表中の下線部2「 $p < .01$ 」とは、どういう事態を示しているのかを説明しなさい。「帰無仮説」、「対立仮説」、「過誤」(あるいは「エラー」)という用語が必ずすべて含まれるようにすること。

問2

以下のQ1からQ4に示す文章には、専門用語や説明あるいは数値にかかわる間違いがある。それらを適切に修正し、全文を書き直しなさい。間違いは複数箇所ある場合もある。

Q1. 次の表はある尺度得点と各得点の頻度(人数)を示したものである。この表において、得点の中央値は「3」、最頻値は「8」である。(表を含め、下線部以外には間違いはないものとする。したがって書き直しは下線部のみで構わない)

得点	1	2	3	4	5
人数	4	4	5	6	8

Q2. もともと有している潜在能力(知能)が低いため、学業の達成度が低い傾向にある生徒は、アンダーアチーバーと呼ばれる。

Q3. 電気ショックという負の強化子を回避することも逃避することもできない経験を繰り返したイヌが、回避や逃避が可能な状況になっても回避や逃避を行わず、動かずじっとしているようになった。この現象は学習性無力感と呼ばれる。

Q4. 科学者-実践家モデルとは、科学的研究を専門にする研究者と臨床実践をもつばら行なう実践家が緊密な協働関係にあるべきとする、多職種連携のあり方のいちモデルである。

問3

以下のQ1からQ3に解答しなさい。

Q1. キャリーオーバー効果を生み出しかねない質問文(一つでも複数でもよい)を構成しなさい。

Q2. 教育場面における適性処遇交互作用の例を一つ挙げなさい。(仮想事例でも構わない)

Q3. 犯罪心理学でいう「割れ窓理論」について端的に説明しなさい。

解答・解答例・出題意図

問題 1

問 1 解答例

親が、A の「優しい言葉で話す」などの望ましいと考えられる行動に対しては、A の強化子と考えられる注目や賞賛を与え強化し、一方、A の「死ぬと言う」などの望ましくないと考えられる行動に対しては、A の強化子と考えられる注目を与えず消去するとともに、その後望ましい行動が出現したらすぐに強化する、といった関わりができるようになることを目指す。

問 2 解答例

1. 二人の人（クライアントとカウンセラー）が心理的に接触している。
2. 一方の人（クライアント）は、不一致の状態、すなわち、傷つきやすい、または不安な状態にいる。
3. もう一方の人（セラピスト）は、この関係の中で一致し統合されている。
4. セラピストは、自分が無条件の肯定的配慮をクライアントに対して持っていることを経験している。
5. セラピストは、自分がクライアントの内的照合枠を共感的に理解していることを経験しており、またクライアントにこの自分の経験を伝えようとしている。
6. クライアントには、セラピストが共感的理解と無条件の肯定的配慮を経験していることが、必要最低限は伝わっている。

問 3 解答例

侵入症状、回避、認知と気分の陰性変化、覚醒度と反応性の著しい変化

問 4 解答

- (1) × (2) × (3) × (4) ○ (5) ×
(6) × (7) ○ (8) ○ (9) ○ (10) ×

出題意図：

本研究科は、公認心理師及び臨床心理士という高度の専門性を備えた職業人を養成するべく、基本的な知識を兼ね備えていることを前提に、より実践的なカリキュラムを組んでいる。そのため出題にあたっては、心理職に必要な基本的法的枠組みや、倫理指針、精神医学の概念、代表的な心理療法の理論などを問うことを方針としている。

問題 2

問 1

解答のポイント：うつと発達障害の可能性を査定する必要性が記述されている。

解答例：

- ・睡眠に支障があること、食欲低下、好きなことへの意欲低下、易疲労性から、うつ状態が疑われるため、抑うつに関する査定が必要である。
- ・書類の書き直し、マニュアルがないと仕事が覚えにくい、周りと自己評価の乖離があり、発達障害の可能性あることから、発達障害のスクリーニングや強みや弱みの評価が必要である。

問 2 ⑤、⑧、⑨、⑩

問 3

(1) ①HDS-R ②20 ③MMSE(-J) ④26 ⑤Mini-cog

- (2) ①事前にカルテ、脳画像、検査所見を含めて医師からの必要な情報を得ておく
②意識状態、意欲の程度、記憶障害、失語・失読・失書・失行などの有無や重症度を把握し、考慮する
③感覚機能の低下に対して配慮する（聴覚、視力等）
④無理のない励ましをする
⑤注意の払われ方に留意する
⑥個人にあった教示法で実施する

問 4 A○ B× C× D× E× F× G×

問 5

(1)

解答のポイント：①算出と②目的が記述されている。

解答例：FSIQ からワーキングメモリと処理速度の影響を除いた得点として GAI は算出される。特に神経心理学的問題を呈する受験者を評価する際に、FSIQ と GAI を比較することで臨床的には有益である。具体的には、言語理解指標（VCI）と知覚推理指標（PRI）の差が小さい場合に、GAI を算出する。

(2)

解答のポイント：①3つの病態水準と②内容が記載されている。

解答例：病態水準とはクライアントの自我や対象関係の発達程度、病識などの観点から精神病理の程度を示す考え方で、Kernber, O. F は人格構造の概念から精神病水準、境界例水準、神経症水準の区別を考案した。それぞれの水準では、防衛機制、自我境界、現実吟味などが異なり、心理検査によって査定することもある。

問題3

問1 出題意図：実験法と有意性検定の基本的発想が理解できているか、統計処理の結果が適切に理解できているかを見る問題であった。

Q1. 解答例

二重括弧内を次のように修正する。『3 条件の背後にある母集団の平均値がすべて等しい』

Q2. 解答例

インターネット治療を受けている風の活動を行なうことで、一種の偽薬(プラセボ)条件を作り出している。治療を受けているという意識だけで改善が見られる可能性があり、他の条件がその効果を上回っていないと、真に効果ある処遇とは呼べないため、このような活動を実施したと考えられる。

Q3. 解答例

同じ被験者が複数の条件を経験することで、前に実施した条件の効果や、慣れの効果など、各条件で意図された処遇の違い以外の剰余変数が混入してしまう。よってこの実験は、被験者内計画よりも被験者間計画の方が適切だと思われる。

Q4. 解答例

「p」とは確率の意味である。何の確率かと言えば、この実験にかかわる判断において、帰無仮説が本当は正しいのに対立仮説を採択する(第1種の・タイプ1)過誤(エラー)を犯している確率である。この確率が1%未満であることを示している。

問2 出題意図：統計学や基礎系心理学の基本的知識を有しているかを見る問題であった。下線部分のように修正すべきである。

Q1. 解答例

この表において、得点の中央値は「4」、最頻値は「5」である。

Q2. 解答例

もともと有している潜在能力(知能)に比べて、学業の達成度が低い傾向にある生徒は、アンダーアチーバーと呼ばれる。

Q3. 解答例

電気ショックという正の罰子(弱化子・嫌子)を回避することも逃避することもできない経験を繰り返したイヌが、回避や逃避が可能な状況になっても回避や逃避を行わず、動かずじっとしているようになった。この現象は学習性無力感と呼ばれる。

Q4. 解答例

科学者-実践家モデルとは、臨床実践を行なう者も科学的訓練を受けた科学者であるべきであるという理念に基づいた教育プログラムのモデルである。

問3 出題意図:基礎系心理学の基本概念が適切に把握できているかを見る問題であった。

Q1. 解答例

タバコの健康への悪影響が指摘されています。あなたはタバコをやめるべきだと思いますか。

または

- ・タバコの健康への悪影響が指摘されていることを知っていますか。
- ・あなたはタバコをやめるべきだと思いますか。

Q2. 解答例

グループ学習と個別学習の効果が、内向的か外向的かによって異なっている。グループ学習は外向的な者に、個別学習は内向的な者に有効である。

Q3. 解答例

一枚の割れた窓が放置されることによって周囲の環境が悪化し、地域社会の住人が地域に対する愛着を失い犯罪が誘発され、それによってさらに環境が悪化していくという、犯罪の発展的進行が生じてしまうことがある。一見犯罪とは関係ないものであっても、環境の整備、維持管理が防犯効果を持つことがあると主張する理論。

小論文 問題

以下の文章を読み、設問に答えなさい。
(なお、事例は作問者の作成した仮想事例である)

あなたはある中学校でスクールカウンセラーとして週 1 回 8 時間の勤務をしている。

ある時、中学 2 年生の男性の担任教師がクラスの女子生徒のことで相談に来た。担任によると、その生徒はクラスにいる時にひとことも話さず、簡単な質問に頷くことでなんとかコミュニケーションがとれている状態だという。

隣のクラスには小学校の時から一緒に登校する生徒がおり、今も登校時はその生徒と来ている。しかし、クラスのなかでは誰とも話をせず、孤立しているように見えるとのことである。

担任は「この子にはコミュニケーションのトレーニングが必要と思うんです。もしかしたら発達上の困難を抱えているのかもしれないですし。とにかく一度、お会いしてください」と、あなたと女子生徒との面談を希望している。

問 1 あなたはこの担任に対して、どのように接するか、400 字程度で書きなさい。

問 2 実際にこの女子生徒と面談することになった場合、あなたはどのような点に気を配って接するか、400 字程度で書きなさい。

評価方法：

ルーブリック評価を実施。評価の観点は、基本的な文章作成力の他、構成力、論理力、表現力、考察力等で構成。

英語 問題

問1 下線部(A)～(C)を訳しなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

引用: FOUNDATIONS OF Play THERAPY. Edited by Charles E. Schaefer, John Wiley & Sons, Inc. 2003.

問2 次の英文抄録の内容について、箇条書きで示しなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

引用: Matthew L. Nice, Patricia Potter, and Carol Lynn Hecht. The Role of School Counselors in Preparing Students for the Developmental Transition from Adolescence to Emerging Adulthood. Journal of Child and Adolescent Counseling, 9(3), 2023, 260-272.

出題意図:

問1 基本的な単語・文法の知識を問う問題であった。

問2 英文内容を理解しているかどうかを問う問題であった。